

公表: 令和6年3月15日

事業所名 mana東うらわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	・仕切り等を使い区切っている。 ・日によって人数は変動するが活動場所を分けている。	・周囲の音等をさえぎることができないので何か工夫が必要である。 ・利用児童が十分に活動できる広さの確保
	②	職員の配置数は適切である	5	1	・有資格者の職員を配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6		構造上の問題で難しい。(階段)
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・日々の朝礼・終礼に加え、月に1回モニタリング会議の中で振り返ることで改善すべき点について話し合っております。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		年1回アンケートを実施しています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		教室のHP、ブログに掲載しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している		6		今後、検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		外部研修、県外同系列事業所、参加職員による研修内容の共有を積極的に実施し、職員資質の向上に努めています。昨年度に続き社内外の多様なオンライン研修を積極的に活用し、研修機会の確保に努めております。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		行動観察などのアセスメントを行い、保護者や児童のニーズや課題を分析した上で個別支援計画書等を作成しております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		担当者が療育支援活動計画書を作成・説明し、全職員への周知・意見交換を行っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		課題が固定化しないように、職員同士で意見を出し合ったり、相談したりしながら、課題・活動の提供を行っています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		長期休暇には、外出イベントなどを取り入れ、公共の場での振る舞い方を学ぶ、友だちと一緒に遊ぶ機会を増やしています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		子どもの課題に応じて個別活動、集団活動を組み合わせて行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		その日の活動の打ち合わせ、個々にあった対応ができるように流れ、役割分担を確認しています。	

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		お子さんの帰宅後に、終礼を行ったり、特記事項を記録に残したりしています。また、当日休みの職員は、終礼ノートで内容を確認するように徹底しています。	
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・見て分かりやすい文章になるよう努めています。 ・記録を見て、次に行う職員は、内容や支援の方法を考えています。	記入職員によって細かく書いていないので改善が必要である。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		・月1回記録をまとめモニタリング評価を行っています。	
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		基本活動の「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせ合わせて支援しております。	
関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・会議に応じて、担当の職員が出席しています。	
	⑩㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		・学校に迎えに行った時に、先生よりコメントをいただいたり、連絡帳を通して様子を伺ったりしています。 ・保護者の方から行事や給食予定表をいただき、確認しています	
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			・対象者はいません
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	関係機関とは、積極的に情報共有できるよう努めている。	
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	関係機関とは、積極的に情報共有できるよう努めている。	
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2		
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2		
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・送迎時に職員が一方向的に話をするのではなく、保護者の思いや考えについて、話を聴き、ともにお子さんの成長を行えるようにしています。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	3	3		・送迎時や個別面談や電話対応の中でお話をさせていただいています。
保護	⑩㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている 保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	4	2		
	⑩㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		・個別面談や電話対応の中でお話をさせていただいています。
	⑩㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		・年1回実施しております。

受者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・ご意見があった場合は、迅速に対応させていただくよう努めてまいります。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	・ブログ、HPで掲載しております。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	6		・個人情報関係は、鍵付きの書庫に保管しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・絵カードや掲示物で視覚支援を行い、個々のスケジュールで見通しを持てるようにしています。 ・分かりやすい言葉を意識したり、質問の時間をもうけております。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			・事業所の行事に地域住民を招待するなどの運営は行っていませんため、今後検討して参ります。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	・各マニュアルを策定し、職員には周知徹底を行っております。保護者には、利用契約時にご説明を行っておりますが、周知徹底を行ってまいります。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	・定期的に色々な災害を想定した避難訓練を実施しています。	・竜巻訓練、不審者対応の訓練を実施する必要性がある。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	・外部研修に職員が参加したり、内部研修を行っています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		・身体拘束は行ってないが、やむを得ない場合は必要な手続を行います。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・契約時に書面でアレルギーの有無について確認を行っております。	・対象者はいません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		・ヒヤリハットの共有の際専用のものに記録・全体周知が必要である。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和6年 3月15日

事業所名 mana東うらわ

保護者等数(児童数)

20 割合

77 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	6	2	1	・体が大きい子どももいるので、部屋がもう少し広くなると良いと思う。	パーテーション等を使用する等、出来る限り有効なスペースを確保できるよう努めます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	5		2	・送迎が一人のようですが、大変じゃないか心配です。	安全に充分配慮しながら、職員配置等に努めていきます。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	8	4	6	・階段が急なので危ないように感じます。	今後も危ないと感じるケースでは職員が付き添う等、安全管理に努めていきます。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画が作成されているか	20					
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1			・色々な公園に行きたいです。と子どもからの意見です。	距離的な問題を考慮しながら、こちらも色々な場所に行けるように考えていきます。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	6		7		
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20					
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	20					
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20					
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	6		6	・今度楽しみです。	今後、前向きに検討しております。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1		5		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1		1		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1		4		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	17			3		
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	2	1	3		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			3		
満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか	19		1		・職員、友だち関係がもっと築けたら楽しくなると思っています。	これからも、子ども達との信頼関係を築くことを重要視し活動していきます。
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	18	2			・いつも子供のことをよく見ていただいております。安心して預けられます。	これからも、更に研鑽し努めていきたいと思っております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。